

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

3. 貧血などの血液の疾患

文献

青江尚志, 高田恭子, 河原伸明, ほか. 術前自己血貯血時におけるエリスロポエチンおよび人参養栄湯の効果について. *自己血輸血* 1997; 10: 145-51.

1. 目的

自己血貯血後の貧血に対する人参養栄湯の併用効果

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

姫路赤十字病院産婦人科

4. 参加者

1994年1月から1996年12月までの期間に術前貯血 800ml 以上貯血できた症例 (なお、比較対照群の鉄剤のみの群に関しては1992年6月から1993年12月までの間に貯血した患者で、ランダム化の対象外となっている)。鉄剤単独群 10名、鉄剤+エリスロポエチン製剤群 37名、鉄剤+エリスロポエチン製剤+人参養栄湯群 26名

5. 介入

Arm 1: 鉄剤単独群 (1回 80mg 経静脈投与を週に3回)

Arm 2: 鉄剤 (1回 80mg 経静脈投与を週に3回) + エポジン (1回 6000 単位、週3回)

Arm 3: 鉄剤 (1回 80mg 経静脈投与を週に3回) + エポジン (1回 6000 単位、週3回) + ツムラ人参養栄湯エキス顆粒 (9g/日)

6. 主なアウトカム評価項目

血液検査 (赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット、網状赤血球数、白血球数、血清鉄) 測定結果を貯血前と手術前で比較検討。

7. 主な結果

鉄剤単独群に対して、エリスロポエチンと人参養栄湯併用群は術前採血時において有意に赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値の上昇が見られた。一方で、エリスロポエチン併用群では有意差を認めなかった。

8. 結論

術前自己血貯血に際して鉄剤とエリスロポエチン製剤に加えて人参養栄湯を併用することは有効である。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

本論文では自己血貯血による貧血に対する人参養栄湯の造血効果が評価されている。鉄剤単独投与群との間において人参養栄湯+エリスロポエチン製剤群は有意差が検出されているが、エリスロポエチン製剤群との間には有意差は検出されていないことを考えると、単純に人参養栄湯を併用することが有効であると結論づけることにはいかならないと思われる。しかしながら、自己血貯血を行う症例が増えている現状を鑑み、このような試みは評価されるべきであると考えられる。術後の状態も含めた評価がなされると、人参養栄湯の他の側面が評価される可能性もあると思われる、さらなる研究成果が待たれる。

12. Abstractor and date

中田英之 2009.1.1, 2010.6.1